

犀ヶ崖は浜松城の北側約1kmにある断崖。現在の崖の深さは約13mだが、当時は約40mもあったと言われている。

10 夏目次郎左衛門吉信の碑

夏目吉信は三河一向一揆の時に処刑されることを、家康公の寛大な処置により助けられた。この恩義を忘れることがなかった吉信は、三方ヶ原の合戦の際、主君家康公の身代わりとなり敵陣の前に立ちほだかり討死にした。



夏目吉信は、夏目漱石の祖系の先祖なんだって!

バス+徒歩9分※さいが崖→美術館
徒歩14分(1100m)

11 普濟寺

遠江における曹洞宗の拠点となるお寺。三方ヶ原の戦いの際、浜松城が炎上したように見えるため、家康公の命で火が放たれ、武田軍を混乱させたとの逸話がある。その後、家康公は七堂伽藍を再建するが、災禍により被害を受け建て直された。なお山門は江戸時代初期に健全されたと言われている。

徒歩4分(300m)

9 さいがけ 犀ヶ崖古戦場

家康公が逆襲! 武田軍が次々に転落したと伝わる深い崖

三方ヶ原の合戦で大敗を喫し、命からがら浜松城に帰りついた夜、家康公は犀ヶ崖近くで野営する武田軍を急襲した。地理に不案内な武田軍は混乱し、次々と犀ヶ崖の深い谷に転落。多くの命を失ったと伝えられている。



犀ヶ崖資料館
浜松市中区鹿谷町25-10 ☎053-472-8383
時 9:00~17:00 休 毎週月曜(祝日の場合は翌日)

8 本多肥後守忠真の碑

犀ヶ崖資料館の敷地内に本多肥後守忠真の戦功の碑がある。三方ヶ原の合戦で、主君の家康公を守るため、自ら殿(しんがり)をかってて武田軍の猛追撃を食い止めた。徳川本隊の後退を守り切るも、刀一本で敵中に斬り込み、討死にしたと言われている。



バス+徒歩10分※市役所前→浜松北高/徒歩20分(600m)

12 西来院

謀反の疑いから佐鳴湖畔で38年の生涯を閉じたことになった家康公の正室・築山御前の霊廟(月窟廟)がおかれている。その近くには家康公の異父弟の松平源三郎康俊の墓もある。

徒歩5分(400m)



13 宗源院

徳川方の武将たちが眠る場所 境内には三方ヶ原の合戦の際に奮戦し討死した成瀬正義や外山小作、遠藤右近など徳川方の武将のお墓がある。寺の東南一帯(現在蛸塚1丁目にあたる)はもとは宗源院の境内であり、家康公が弓の道場として設けた御の場馬場だったと伝わる。また宗源院には今川義元ら直筆の指定文化財「今川公判物」も保管されている。

浜松市中区蛸塚1-20-1 ☎053-452-4443

徒歩19分(1500m)

14 浜松市博物館

家康公の等身大像と出会える博物館

浜松市博物館は、昭和54年(1979)に、蛸塚公園(蛸塚遺跡)の中に建てられた。館内では原始から近代まで、浜松地域の歴史資料を紹介している。家康公関連の代表的な資料としては「徳川十六将図」や「家康直筆の書状」などがある。

浜松市中区蛸塚4-22-1
☎053-456-2208
時 9:00~17:00
休 月曜
(休日の場合は開館)
祝日の翌日
図 常設展
(特別展期間は別料金)
大人310円
高校生150円
小中学生無料

徒歩8分(600m)



秀吉公が初めて仕えた松下氏に連れてこられたのもこの引間城。2人の天下人(家康公と秀吉公)ゆかりの地であることから、特別な出世パワースポットとして注目されている。



徒歩12分(1000m)



5 五社神社・諏訪神社

家康公が厚く信仰していた 2代将軍秀忠公の産土神

五社神社は、2代将軍秀忠公誕生の際に産土神(生まれた土地を守る神)として、家康公の命により浜松城内から現在の地に遷された。家康公は子供たちのお宮参りや、自身の厄除けの祈禱をここで言ったと言われている。また諏訪神社は3代将軍家光公の命により、現在の位置に遷座。徳川家から崇敬されてきた両神社は、昭和35年(1960)に1つの神社として合祀された。今でも子守り・子育ての神様として広く信仰されている。

浜松市中区利町302-5 ☎053-452-3001
<https://gosityajinja-suwajinja.or.jp/>



手水鉢は寛永15年(1638)に浜松城主の高力摂津守に寄進されたもの。徳川で言えば家光公の時代。

4 浜松元城町東照宮(引間城跡)

最強のパワースポット!? 家康公を祭神とするお社

明治19年(1886)、浜松城の前身となった引間城があった場所に創建された浜松元城町東照宮。曳馬城跡と刻まれた史石碑や、社殿の扉・屋根に見られる三つ葉葵の紋所は、家康公を祭神とするお社であることを示している。永禄11年(1568)、三河から遠江に入った家康公は今川方の拠点であった引間城を攻め入城し、城地を拡大。名を浜松城と改めた。その後、引間城の跡地には米蔵十数棟が建てられたと言われている。

浜松市中区元城町111-2

徒歩8分(600m)



6 家康公鎧掛松

市役所の西側にある鎧掛松。三方ヶ原の合戦に負け、浜松城に逃げ帰った家康公が鎧を脱いで松に掛けたと言われていることからその名がつけられた。現在の松は3代目。初代は浜松城内の堀の近くにあったと伝えられている。

徒歩1分(50m)



7 浜松城

若き日の家康公が 天下統一の礎を築いた浜松城

浜松城は江戸幕府300年の原点であり、多くの歴代城主が幕府要職に登用されたことから、後に出世城と呼ばれるようになった。天守閣には家康公と城下町浜松にまつわる資料や武具などが展示されており、3Fからは浜松を一望できる。また浜松城公園敷地内にある茶室「松韻亭」では美しい日本庭園を眺めながら、呈茶サービスを受けられる。

浜松市中区元城町100-2 ☎053-457-0088
時 浜松城(天守閣・天守門) 8:30~16:30



松韻亭の呈茶サービス
10:00~16:00 一席(お茶・お菓子)400円
※抹茶と煎茶の日がありますので詳細はHPから。
浜松市中区鹿谷町11-4 ☎053-473-4310
※設備更新工事のため4月1日(水)より営業 <http://www.shouintei.jp/>



徒歩7分(500m)

GOAL!

15 たちあらい 太刀洗の池

岡崎城から浜松城へ向かうため佐鳴湖を船で渡った築山御前が、謀反の疑いで家康公の家臣により殺害された場所。その刀の血を洗ったのが太刀洗の池と呼ばれている。現在は埋め立てられ、少し離れた浜松医療センター駐車場の片隅に碑が残っている。

※現在、工事のため、立ち入りできません。